

そ う ぜ ん じ 便 り

19世 俊諦和尚筆

第 152 号

令和5年春彼岸号
臨濟宗 宗禅寺
建長寺派 宗禅寺
住職 高井正俊
徒弟 高井和正
羽村市川崎2-8-20
TEL 042-554-1276
FAX 042-578-3525

春のお彼岸を迎えます。ウィズコロナの生活も長くなりました。今年のお彼岸はコロナで休止をしていました春の文化展を特別展のみ開催致します。墓参の折りにお立ち寄りいただき、心に栄養を蓄えていただけると有難いです。

宗禅寺春の文化展特別展

令和5年3月18日(土)

～21日(火・祝)

午前9時～午後3時

- ◆ 木工作家 / 五十嵐誠さん ◆ 水彩画 / 川述宗彦さん
- ◆ 気球の写真 / 菊田明理さん
- ◆ 能面・木彫 / 新井達矢さんと木彫教室の皆様
- ◆ 中村浩さん遺作展 / 林心耳さん屏風絵

春彼岸早朝坐禅会・三月十八日(土)～二十四日(金)毎朝六時～七時開催致します。

※ 本年も劇団水族館劇場が第二駐車場でご公演を致します。五月十七日初日。全十四回公演。

六月六日千穉樂です。

※ お彼岸の付け届けは同封の封筒の通りです。ご協力お願い致します。

※ 四月八日午後一時から、お釈迦様の誕生日「花祭り」法要執り行います。福生・鳳友会の皆様による生田流箏の演奏がございます。お出かけ下さい。

※ 土曜講座 応援をよろしく願います。

※ 七月盂蘭盆お施餓鬼法要にて椎名由紀さん「ZEN呼吸」のお話があります。

宗禅寺俳句会 歳時記俳句

- 一と雨に 清められたる 春の空
- ありあまる ほどの日溜り 犬ふぐり 中野つたえ
- 送り出す 孫にエールの 春の朝
- ゆったりと 春の草踏む 山路かな 田村 章
- 春耕や 風やわらかき 日となりて
- そよ風に 木々の芽吹き の うながされ 中野 満子
- 雨音も 孫の寝息も 長閑なり
- 待ち侘びて 微笑み返し 春の花 雨倉みよ子
- うららかな 距離ほどほどに 老夫婦
- 土手の道 日毎整ふ 花つぼみ 平井 敏正
- パステルに 大地を染めて 花便り
- 春めきて 夕餉遅らす 庭仕事 島田 陽子
- 久しぶり 並び微笑む 内裏雛
- やわらかな 日差しに映える 梅の花 島田 実
- 春愁や 名医に優る 添い寝犬
- 名残雪 迫るリスクの 受験生 戸梶 功
- 昨夜の雨 一気に誘ふ 木の芽かな
- 参道に 露店も立ちて 梅日和 中野 良一

節分豆まき会ご報告

去る二月三日に恒例の節分の豆まきとお薬師様への新春祈祷法要を執り行いました。

コロナが始まってから、盛大な豆まきは中止をしていましたが、今年は薬師堂からご来山して下さいました皆様へ順番に豆を撒いてもらいました。小さなお子様からおばあちゃまで、老若男女問わず、ご参加をいただき有り難いことでした。

また、祈祷のお札をお申込みいただきました皆様への御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



宗禅寺観音募金

令和5年2月28日まで

皆様からの募金、お賽銭をこのように使っています。ご協力ありがとうございます。

収 入	172,700円	
支 出	150,000円	
内 訳	30,000円	羽村市社会福祉協議会様
	30,000円	あしなが東日本大震災遺児支援募金様
	30,000円	西東京臨済会災害支援部様
	30,000円	建長寺観音募金
	30,000円	らいむぎハウス様

繰 越 22,700円

リアルてらこや 活動の御報告

らいむぎハウス代表 水嶋 恵子

いつもみなさまの温かいご理解、ご支援に感謝します。

2月には、珍しく雪が降り積もりましたね。その翌日がリアルてらこやの開催日でしたので、子どもたちは寒さも忘れ、目をキラキラさせながら雪のボールを作ったり遊んでいました。みんなでの雪遊びは最高に楽しかったです。

最近、「子ども食堂」を耳にする機会が増えてきました。リアルてらこやでは、子どもたちが自主的に学習できる場所の提供とその支援をしています。食の面でも何か支援が



広い境内で元気に雪遊びです

できればと思い、ボランティアの方々に調理方法を教えてもらいながら一緒に昼食をつくっています。お腹を空かせたまま長時間お家の人が帰ってくるのを待っている子どもたちが意外とたくさんいます。また、お昼代を置いて仕事に出るご家庭も少なくありません。そのお金でお菓子や、インスタント食品、菓子パンばかりを買ってしまうなら、子どもたちが自分でご飯を炊いて、身近にある食材で調理ができるようになればと、このスタイルを続けています。包丁を持つのが初めての子どももいて、ハラハラドキドキの調理ですが、ご理解のあるボランティアの方々のおかげで楽しくそして、にぎやかに調理をしています。現在「フードバンクはむら」や、「NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえ」そして地域の方々から食材をいただき、なんとか継続してきている現状です。今後もこの食の面の支援も継続していきたいと思っていますので、ご支援をいただけたらと思います。今回は、開室当初から参加している大瀧美緒さんから感想をいただきました。

「こんにちはすこい人たちが集まって、子どもたちのために行動を起こして、開催しているのが本当にすごいと思いました。てらこやに関わる中で、大学で教育の勉強をしたいという気持ちも固まり、とても良い経験をさせていただいていると感じています。」

開室当初は中学生だった大瀧さんですが、

現在高校生になり、小・中学生の勉強のサポートをし、子どもたちの良きお姉さんの存在です。この活動を通して、将来の目標を持つことができたこと、本当に嬉しく思います。教育格差問題は、この活動を始めた理由のひとつにあります。経済格差が関連していることも否めませんが、「よき出会い」は、子どもたちの将来を変える可能性もついていると思います。さまざまな社会階層の子どもたちが出会い、さらに地域の方々と交流し、穏やかに開かれた関係を紡ぐ居場所としてこれからも続けていけたらと思います。



雪玉作り



2月は大雪の翌日の開催でした

木彫教室のこれまでとこれから

能面師 新井 達矢

平成二十五年の春の文化展の特別展「新井達矢・大野弘江 二人展」への出品依頼を頂いたのは今から十年前。能狂言面十三点や仏像などを展示、一日三時間程の鬼面の荒彫り実演もあり、なかなかハードで楽しい四日間でした。

その会の最中にご住職から「お寺で木彫の教室をしてみない？」とお声掛け頂き、まもなく発足したのが「宗禅寺木彫教室」です。

それまでサークルの依頼で面打ちの主張指導の経験はありましたが、正式な教室は初めて。不安が無かったかと言えば嘘になりますが、ご住職の「任せるから何でもやってみれば良いよ」というご助言と熱意に促され有り難くお受けしました。

コロナのひどい時期には二か月休講しましたが基本的に毎月休みなく続けています。

春の文化展にも木彫教室として毎年参加していました。

お寺さんのご支援のお陰で、お手頃な会費で本格的な作品作りに取り組めているという自負があります。

会場はお寺前の新奥多摩街道を挟んだ向かい

にある「禅センター」。木造平屋の主に二部屋をお借りして能面などの仮面、仏像やレリーフ彫刻などを制作しています。月二回の一回三時間、コロナ禍を経た現在は老若男女十名余りの方がいらっしゃいますが多いときは二十名ほど在籍されていました。地元西多摩に限らず東京

都心や横浜、土浦から通われている熱心な方もいらっしゃいます。

彫刻刀を持つのが殆ど初めてというような方は、小さなお地藏様の彫刻から始めて頂くことが多いです。しかし講師が面打のためか次第に面を制作する方が多くなっており、実質的には





◀ 能面制作過程①

木彫教室というより面打教室といえそうです。面に限らず自由な制作を旨とし、ご本人の技量を見極めた上で、作りたいものを作って頂いています。一般的な教室では初心者の間は課題を与えられ、次はこれを作ってくださいと指示されることが多いようですが、先ずはご本人の希望を伺います。講師がお手伝いしますし、根気と素直さ丁寧さがあれば技術は拙くとも木の塊を形にできるものです。

能面打は基本的に室町時代から江戸時代初期頃までに生み出された本面（オリジナル）の写しを制作します。同じものを作ることが理想な



◀ 能面制作過程②

のでコピーということになりますが、個性を極力抑え、先人が作り出し数百年も変わらぬ美意識を感じ汲み取り自らの面に投影していく行為は困難をきわめ果てがありません。自分を抑えるからこそ滲み出る本当の個性があるのです。生徒さんに少しでもそんな感覚がお伝えできたらと毎回励んでおります。

仏像その他に関しては専門ではありませんので、美大の彫刻科で学んだ内容を生かし感性重視でお教えしています。かえって定型にとられない面白い作品が出来ている気もします。近年、能狂言面その他を全国から募集し、高



◀ 能面完成品

名な能楽師や能面師が審査して賞が与えられる公募展が開催されており、当教室の生徒さんも数年前から応募しています。中には二位の金剛流若宗家賞や上位入賞する方もいてお教えする原動力にもなっています。愛好家の方々は楽しく作ることが第一で、入賞が全てではありませんが単純に嬉しいですからね。

今後はお寺さんから貴重な場を与えられていることに感謝し、地味にコツコツと木と対峙する時間を大切にながら、この会を続けさせて頂きたいと考えております。

いまから四〇八年前、宗禅寺は創建されました。古い歴史をもつ寺には、仏具をはじめとして、さまざまなものが伝来しています。

なかでも、薬師堂にある青銅製の鉦かねがもつとも古いものです。この鉦には、

「薬師如来奉寄進為父母菩提也」

「武勳小宮領川崎村

施主中野伊右衛門」

「元禄三庚午年七月日

小幡仁左衛門作」

と彫られています。

川崎村に住む中野伊右衛門が、父親と母親の供養のため薬師如来に鉦を奉納したこと。奉納日は、元禄三年（一六九〇）七月で、小幡仁左衛門によって铸造されたことが書かれています。

この鉦と、それを叩くための撞木しもくや大数珠おおじゆずが残されていることから、川崎村に念仏講があったことが確認できます。宗禅寺の墓地入り口にある古い六地藏の台座には、「念仏講中」「男女念仏講中」の文字が読み取れます。念仏講中は女性のみで構成されている場合が多いですが、男女構成の講はめずらしいです。薬師堂正面にかけられている鰐わにくち口には、「念仏女講中」と刻まれています。

講は、もとは仏典を講究する学問僧の研究集会をいい、やがて仏教儀礼を行う法会を指すよ

うになりました。中世になるとこれが民間に浸透し、同一の信仰を持つ集団を「講」と呼ぶようになりまし。念仏講もその信仰集団のひとつで、江戸時代になって盛んに行われるようになりまし。

念仏講は、念仏を唱えることによる仏の供養や村の安全、五穀豊穡を祈願することを目的としていました。

薬師堂は、聖と呼ばれた民間宗教者の宿泊場所として使用されたり、かれらの活動の拠点となっていました。念仏講の発生は、このような聖たちの活動を通して、この村に講が組織され、薬師堂が村びとの信仰活動の拠点となっていたのです。

川崎村の念仏講は、古老の話によると昭和初期までは続けられていましたが、戦争により途絶えてしまつたようです。

このため念仏講の伝承が残っていないため、昭和五〇年代まで行われていた狛江市和泉地区の念仏講を紹介し。ます。

和泉地区の念仏講は、女性が中心となつて集まつて組織されてきました。葬儀の際念仏講中が集まつて、念仏唱和を行いました。念仏唱和に用いるものは、鉦と大数珠、故人の遺体の枕元に掲げる十三仏の掛け軸です。

通夜のときになされる念仏唱和は、念仏講員が中心となり、遺族や近隣の人々らが座敷内に円陣を組んで着座し、大数珠をそこに広げます。それを皆が手に取つて、念仏を唱えながらまわ

していきます。円陣まん中で念仏講の長老がカンカンと鉦を叩いて音頭をとり、それにあわせて皆が念仏を唱和しつ、大数珠をまわします。大数珠には大きな珠がひとつあつて、それが自分の所にまわつてくると、数珠を持ち上げ拝礼するなわらしになっていました。

葬儀のとき以外でも、講員家を順繰りに交替して宿を決め、講中が月一回ぐらいに集まつて念仏を唱えることもあつたようです。

宗禅寺でも毎年一〇月に開催されます薬師大祭で行います百万遍の数珠まわしは、川崎村の念仏講の名残といえます。ただ唱え言は、浄土系では「南無阿弥陀仏」を繰り返しますが、薬師如来ですから真言の「オンコロコロ センダリ マトオギ ソワカ」と唱えます。

宗禅寺が堂坂下の玉川上水付近から現在地に移転してきたのは、元禄八年（一六九五）です。薬師堂も以前は現在の川崎会館のところに建っていました。

念仏講で使われていた鉦は元禄三年に造られていますから、当時のお堂や寺の様子を知っていたことでしょう。

カンカンカンと鉦を叩き、大数珠をまわすことで、往時を振り返ることができそうです。

《参考文献》

『和泉の民俗』狛江市史民俗調査報告書六

檀信徒の皆様へ

おかげさまで宗禅寺の
活動の形ができました

住職 高井 正俊

令和五年を迎えました。昨年、第二駐車場に「みんなの家」を修繕完成させていただきました。この大仕事によって、宗禅寺の建物群（本堂・庫裏・客殿・薬師堂・三社堂・川崎会館前由美（太子堂跡地）・禅センター）が揃いました。そして、活動ではリアルてらこやも加わり、活動の形も充実してきました。宗禅寺隣接地の土地買い取りもひと段落しました。おかげさまで、寺の形が出来上がりました。ここで、戦後七十八年間の寺の歩みをまとめ、皆様に宗禅寺がどのように歩んできたかをお知らせしたいと思います。

戦後の昭和二十年、俊諦・ヨキ夫妻がこの寺に入寺してからのことです。先住夫妻は、前任職であった永井家家族のお世話をしながら、畑を耕し、夜警の仕事をしながらか川崎村百五十軒の檀家と共に寺を守り始めました。現在、寺はとも充実した形になっていますが、その元をたどるところな

第一に俊諦和尚が入寺した時、寺の畑は

地元の檀家さんが耕作していましたが、その土地を農地解放にあたっては、唯一人として自分のものにせず、寺にお返ししたという事です。これには当時の総代長であった雨倉久次郎氏の指導もありますが、耕作していた方の寺や村に対する想いがあったと思われます。第二に、俊諦和尚は寺の道路南側の土地、これが先住夫人の永井ミツ名義になっていたものを、裁判を通して宗禅寺の所有となりました。担当の裁判官が、俊諦和尚の努力に対し、おほめの言葉をされたと、伝えきいています。

この二つのことが寺の将来を決定づけるものになりました。

宗禅寺は地元川崎村の一村一カ寺として、江戸時代に創建されます。境内の薬師堂は室町時代に再建されたもので、元々村人によって護持され、江戸時代になり宗禅寺を川崎村で建立し、更には、玉川上水（現・羽村市玉川）より現在地に移設もされました。大きなスポンサーはなく、全て川崎村の村人の手によってなされたものでした。

俊諦和尚夫妻の努力。そして、不肖息子の私が、そのあとを継承し、おかげさまで私も七十七歳の喜寿を迎えることが出来ました。和正和尚も、あとをしつかり受け継

いでくれるものと思っています。

この時にあらためて檀信徒や川崎村や宗禅寺の活動に参加して下さる方々に寺の歩みをお知らせし、更なる御信心と活動への協力をお願いする次第です。

寺の土地・建物・活動を三つの柱として、皆様方に御報告をさせていただきます。

■土地の取得等について

一、俊諦和尚入寺後のこととして

・昭和三十年 瑞穂町の土地を取得しました。

・お寺の前の道路地（現・新奥多摩街道）が東京都に売却されました。

・川崎武蔵野（羽村第三中学校隣）の山林の土地の砂利が売却されました。

・昭和五十四年 川崎会館用地として、薬師堂跡地が羽村町に売却されました。これらの土地代金で、埼玉県児玉郡美里町の山林を取得。又、寺の修理費用にあてられました。

・昭和六十二年 埼玉県美里町の山林をゴルフ場用地として関東総合開発に売却。まだ少し残っています。

二、平成以降

・平成十七年 福生側新墓地用地として、土地を購入しました。

・平成二十三年。現・みんなの家の建物付き土地を購入しました。

・平成二十八年 川崎会館の前、居酒屋由美の借地権を買戻し、寺所有となりました。

・平成三十年 薬師堂裏駐車場の土地を買い取りました。

・平成三十年 お寺の裏、第二駐車場用地を買い取りました。

・令和二年 西駐車場（セブンイレブン隣・子育て交通安全地蔵）の土地を買い取りました。

平成三十年以降の三件は、寺の隣接地でもあり、将来の必要性を考え、取得しました。

■土地の貸付について

土地の貸付については、次の通りです。

・瑞穂町箱根ヶ崎字武蔵野の土地を青伸産業運輸さんに貸しています。

・川崎武蔵野の土地（羽村第三中学校隣）を鈴木土建株式会社様、羽村リトルシニア野球協会様、（株）オートレント様に貸しています。

貸しています。

・川崎三丁目、禅センター前の駐車場を飯和建設様に貸しています。

以上が、寺の土地がどう取得され、使われているかの報告です。

■宗禅寺の建物について

お寺では現在、本堂や客殿、禅センター、みんなの家を使って様々な活動を行っています。

宗禅寺の建物について、その変遷をたどってみました。

・昭和二十八年十月 薬師堂が川崎会館の地より、寺に遷座（移設）される。

・昭和三十一年十月 薬師如来像が島田改助氏の手により完成。大法要行う。

・昭和四十五年十月 本堂・庫裏・薬師堂・東司・書院大改修。落慶法要。

・昭和四十九年十月 鐘楼門完成。南側塀も。落慶法要。

・昭和五十八年二月 三社堂、改修落慶法要。

・昭和五十九年 禅センターの土地・建物（中野玄一宅）が寺に無償で返還される。

・平成元年 客殿完成。

・平成二年四月 客殿・隠寮・東司完成。落慶法要。

・平成二年 旧本堂玄関を客殿裏門へ移設。

・平成六年 庫裏・東屋完成。正俊和尚晋山式。

・平成十一年 本堂、池の間増築完成。俊諦和尚遷化。

・平成十三年 寺門柱、参道入口に移設。三社堂前庭完成。

・平成十五年 永代供養墓、六地藏前に完成。

・平成二十一年 隠寮二階増築工事了。

・平成二十八年 「禅センター」改修工事了。半鐘、静岡のお寺から帰って来る。

・平成二十九年 本堂南の間完成。

・令和二年十一月 西駐車場にお地藏様（子育て交通安全地蔵）遷座法要。

・令和四年 「みんなの家」（第二駐車場）完成、使用開始。

■活動について

宗禅寺は二月の節分、春彼岸の文化展、七月のお施餓鬼、十月の薬師大祭、除夜の鐘が主要な中行事となっています。薬師講

中や護持会、サンガの会の方々がご奉仕、実行して下さいます。

ここでお寺を会場としての活動を振り返ります。

・昭和五十一年三月 正俊和尚、建長寺の修行道場より帰る。

・昭和五十三年 羽村臨済会誕生。

・昭和五十八年 そうぜんじ便り創刊。

- ・羽村とうろう流し始まる。
- ・昭和六十年 薬師講中による薬師如来大祭始まる。
- ・昭和六十一年 写経の会始まる。
- ・昭和六十一年 朝粥坐禅会始まる。
- ・昭和六十三年 正俊和尚住職となる。
- ・昭和六十三年 御詠歌講中発足。
- ・平成三年 子供坐禅会始まる。菊を飾る会始まる（平成二十八年に終了）。
- ・平成七年 護持会発足。
- ・平成八年 寺子屋教室始まる。彼岸、お盆坐禅会始まる。
- ・平成十一年 俳句の会始まる。第一回春の文化展実施。
- ・平成十二年 寺子屋委員会発足。
- ・平成二十一年 尺八吹禅の会始まる。
- ・平成二十二年 女性サンガの会始まる。
- ・平成二十五年 木彫教室始まる。
- ・平成二十八年 土曜講座・うどん教室始まる。
- ・令和元年 健康体操始まる。第三十七回羽村とうろう流し開催。
- ・令和二年 新聞サロン始まる。
- ・令和三年 らいむぎハウスのリアルてらこや、いきいきヨガ、お寺deこころの相談室、始まる。水族館劇場、第二駐車場での公演開始。

・令和四年 羽村とうろう流し終了が正式に決定する。

・この他、禅の旅や寺巡りを適宜実施しています。

これからも宗禅寺は開かれた寺として、多くの人が、いろんな活動に関わり、心の平安を保っていただけける努力をしていきます。

それを支えて下さっている総代会の皆さんや、多くの方々に感謝すると共に、みんなが幸せになる寺づくりを共にしていきたいと思っています。

大変、長くなりましたが、戦後七十八年の寺の歩みを、ざっと紹介させていただきました。これからも、いろんな情報をお伝えしていきます。御要望をお知らせ下さい。

※念のため
土地の取得や売却、建物の建築については、総代会での協議を経て決定しております。



■宗禅寺支えて下さっている皆様

現在の宗禅寺を支えて下さっている皆様です。

△総代会

中野 祐司 総代長
新井 政昭 副総代長

大野 元雄さん

中村 修さん

中村 勝司さん

新井 敏行さん

△薬師講中

島田 光雄 会長

島田 弘 幹事長

秋山 一男 事務局長

幹事

横田 信夫さん

島田 弘道さん

中里 國英さん

平井 幹廣さん

中野 満子さん

大野伊佐男さん

島田 重雄さん

雨倉 久行さん

中野 良一さん

島田 秀男さん

大塚 敏行さん

中野 良次さん

島田 昌稔さん

会員総数八十二名。

△護持会

中根 一明 会長

会員十五名。

元気に活動中です。

寺門清風 正俊記

●令和五年を、無事に迎えることが出来ました。寺族、総代一同より、みなさま方に、あつく感謝申し上げます。寺族一同、本年も寺院護持、檀信徒の皆様の平安を實現するため、努力をしています。本年もどうぞよろしく願います。

〔一月〕葬儀七件、法事十件。体重六十キロ。いつもの通り、一年が始まりました。

○お年始の方、たくさん来山 1/3

○水族館劇場 境内で野外劇 1/3

○総代さん方へ年始に。虎ノ門病院へ。定期検査、異常ナシ。 1/4

○禅センターで木彫教室。 1/7

○朝粥坐禅会九人。ヨガは五日から 1/8

○年頭に家族でいろんな話合い 1/10

○写経の会なんと十八人。写真整理 1/11

○鎌倉禅研究会（横田管長・小川隆先生）なんと八十人の参加。鈴屋で夕食。 1/12

○虎ノ門病院へ定期検査。異常ナシ。 1/16

○客殿でうどん教室（雨倉組） 1/18

○禅センター 写真整理大仕事終わる。 1/19

○虎ノ門病院 抗がん剤で口内炎。手の皮むけ、大したことはないが、薬。 1/23

○寺子屋委員会 勉強会と相談 1/24

○てらこや 鎌倉と羽村と合同新年懇談会。 1/26

○湯島麟祥院 禅の勉強会へ 1/29

○鎌倉田楽で宮崎緑さんの母を偲ぶ会。久しぶりに旧交を温める。 1/31

●一月の来山者は年始もあり、八五〇人でした。朝の筋トレ、テレビ体操、坐禅と毎日欠かさず実行しています。おかげで体調はいいです。

〔二月〕葬儀八件。法要二十二件。ていねいな法要を心掛けています。法要は、なるべく沢山の方、そして子供達もおいで下さい。大事な場です。

○写経の会十三人。般若心経の写経。終わって皆でお経。皆さん熱心。 2/1

○本堂でヨガ教室。これ又熱心十三人。 2/2

○恒例の節分豆まき法要。今年も関係者のみで、赤鬼・青鬼登場。子供達大喜び、来た人全員で五回に分けて豆まきしました。中身充実濃い。二五〇人の参加、福豆お菓子進呈。 2/3

○毎週の土曜坐禅会。今日は九人 2/4

○朝粥坐禅会九人。法事多く、早稲田グリクラブ公演行けず。残念。 2/5

○虎ノ門病院体温上昇で点滴中止 2/6

○鎌倉禅研究会（安藤・石井先生）で、建長寺へ。和正も参加。助かる。 2/7

○星野造園 庭の手入れ七日間。 2/9

○虎ノ門病院点滴（ドタキセル） 2/13

○淑子さん姪と共に音楽会へ泊 2/14

○砂川・林泉寺山内玄黙和尚一周忌に出頭。 2/16・17

○淑子と渋谷黒田陶苑。鈴木郁展へ。帰山して誕生祝。七七歳、喜寿になりました。予想外に健康です。 2/17

○横田南嶺老師『臨濟録に学ぶ』読了。清岩院西東京臨濟会新年総会は欠席。 2/19

○写経の会十二人。クレヨンの会、みんなの家で四人。 2/21

○たよりの原稿、土地・建物・活動をまとめ出す。なかなか大変。 2/22

○駒沢大学佐藤秀孝先生より本が届く。 2/23

○私の喜寿祝い。淑子さん兄妹一同と共に。久しぶりに皆そろって食事。なんと十一時半より四時半まで。私途中で二回休息。綾子も同席。皆、楽しそう。 2/24

○抗がん剤 飲み薬エスワン終了。二クール目が終わる。体調はまず快調。眼の調子が今一。

●おかげさまで二月も無事、乗り切りました。法要もしっかりさせていただいています。ありがたい事です。家族も元気で。島田弘さんが境内の美化にとめてくれ、横田信夫さんが季節の花を玄関に飾ってくれています。島田秀男さんは禅センターで村の歴史をまとめてくれます。各会も順調です。皆さんのおかげで、寺の活動が維持されています。宗禅寺はみんなのお寺を目指します。

○砂川・林泉寺山内玄黙和尚一周忌に出頭。 2/16・17

○淑子と渋谷黒田陶苑。鈴木郁展へ。帰山して誕生祝。七七歳、喜寿になりました。予想外に健康です。 2/17

○横田南嶺老師『臨濟録に学ぶ』読了。清岩院西東京臨濟会新年総会は欠席。 2/19

○写経の会十二人。クレヨンの会、みんなの家で四人。 2/21

○たよりの原稿、土地・建物・活動をまとめ出す。なかなか大変。 2/22

○駒沢大学佐藤秀孝先生より本が届く。 2/23

○私の喜寿祝い。淑子さん兄妹一同と共に。久しぶりに皆そろって食事。なんと十一時半より四時半まで。私途中で二回休息。綾子も同席。皆、楽しそう。 2/24

○抗がん剤 飲み薬エスワン終了。二クール目が終わる。体調はまず快調。眼の調子が今一。

●おかげさまで二月も無事、乗り切りました。法要もしっかりさせていただいています。ありがたい事です。家族も元気で。島田弘さんが境内の美化にとめてくれ、横田信夫さんが季節の花を玄関に飾ってくれています。島田秀男さんは禅センターで村の歴史をまとめてくれます。各会も順調です。皆さんのおかげで、寺の活動が維持されています。宗禅寺はみんなのお寺を目指します。

○砂川・林泉寺山内玄黙和尚一周忌に出頭。 2/16・17

○淑子と渋谷黒田陶苑。鈴木郁展へ。帰山して誕生祝。七七歳、喜寿になりました。予想外に健康です。 2/17

○横田南嶺老師『臨濟録に学ぶ』読了。清岩院西東京臨濟会新年総会は欠席。 2/19

○写経の会十二人。クレヨンの会、みんなの家で四人。 2/21

○たよりの原稿、土地・建物・活動をまとめ出す。なかなか大変。 2/22

○駒沢大学佐藤秀孝先生より本が届く。 2/23

○私の喜寿祝い。淑子さん兄妹一同と共に。久しぶりに皆そろって食事。なんと十一時半より四時半まで。私途中で二回休息。綾子も同席。皆、楽しそう。 2/24

○抗がん剤 飲み薬エスワン終了。二クール目が終わる。体調はまず快調。眼の調子が今一。

土曜講座のお知らせ

好評の仏教講座はしばらくお休みです。代わりに、住職のイス坐禅、菊地玉雲さんの講談。講師は一人にさせていただきました。ゆつくり、お過ごし下さい。

◆第七十七回 四月二十二日(土)

○中里介山忌

・イス坐禅

・サズ(トルコ)の伝統楽器 演奏

藤井 良行さん

・中里介山についてのお話し

宗禅寺文庫長 島田 秀男 先生

◆第七十八回 五月十三日(土)

・イス坐禅

・未来への希望

ビオラ演奏など 田村しおりさん

・昭島のウクライナの方々の声を聞く

雨倉 寿久さん

昭島に避難しているウクライナの方々

◆第七十九回 六月十日(土)

・イス坐禅

・講談「新平家物語」

菊地 玉雲 師

私のしてきたこと、そしてこれから

◆第八十回 七月十五日(土)

・呼吸の話し

ZEN呼吸家 椎名 由紀 先生

・施餓鬼法要を味わう

※土曜講座各回とも十三時〜十五時頃です。

鎌倉禅研究会のお知らせ

鎌倉建長寺で行っている勉強会です。どなたでも予約なしで、直接参加できます。気軽にお越しください。建長寺入口で入山料五〇〇円、会場で資料代五〇〇円を納めて下さい。では、会場でお会いしましょう。

◆第百八十四回 四月十三日(木)

・蘭溪和尚とその時代

法政大学講師・建長寺研究員 彭 丹 先生

・禅宗の読誦経典

鶴見大学講師・徳善寺住職 尾崎 正善 先生

◆第百八十五回 五月十一日(木)

・佐々目僧正 頼助について

神奈川県金沢文庫学芸員 三輪 眞嗣 先生

・講師調整中

◆第百八十六回 六月二十二日(木)

・中世鎌倉に於ける方位と方向

NPO鎌倉考古学研究所員 玉林 美男 先生

・鈴木大拙。パートⅡ

筑波大学非常勤講師・円覚寺職員 蓮沼 直応 師

◆第百八十七回 七月六日(木)

・蘭溪和尚とその時代Ⅱ

法政大学講師・建長寺研究員 彭 丹 先生

・建長寺研究ノート

建長寺研究員 鈴木 佐 先生

※鎌倉禅研究会、会場はいずれも建長寺。

時間はいずれも午後一時開始。午後四時

半終了予定です。

宗禅寺毎月の活動

お寺で新たな自分の発見を

- 朝粥坐禅会…… 毎月第一日曜日 朝6時～8時半 禅の食事の作法でお粥をいただきます。禅の作法は黙食です。4/2 5/7 6/4 7/2
- 土曜坐禅会…… 毎週土曜日子供:18時～19時 大人:19時半～20時半 繰り返しの腹式呼吸。深い呼吸でココロも安定。
- 彼岸早朝坐禅会…… 彼岸中毎朝6時～7時。山門上の鐘を撞きながら般若心経と一緒に読んでから坐禅をします。予約不要です。3/18～24 毎朝6時～7時
- 土曜講座…… 毎月1回の公開講座。13時～16時 地域文化と財産の再発見。いまある世界をより豊かに感じるために。
- 写経会…… 毎月1日、11日、21日 13時～15時 般若心経の写経をしています。支度、片付けは全員で。自分のペースで一文字一文字丁寧に。
- 御詠歌…… 毎月第1・3火曜日 1時半～3時 指導:高井淑子
- 手打うどん教室…… 現在2クラス開講中。月一回。講師:島田辰夫先生
- いきいきヨガ…… 毎月第1、第3木曜日 10時～11時 予約不要 ¥500 大きめのバスタオル要持参 講師:園部多恵子さん <https://www.instagram.com/tae.yoga/>
- 木彫教室…… 毎月第1・第3土曜日 13時～16時まで 講師:新井達矢先生 見学できます 仏像や能面を自分で彫ってみませんか? 月謝5000円(道具、材料費は要別途) 新井達矢先生ブログ:<https://ameblo.jp/tapazya-1982/>
- 俳句教室…… 毎月1回、適宜。問い合わせ先:中野つたえ ☎554-2444
- 尺八吹禅の会…… 毎月第1、第3月曜 夜7時半～9時頃 坐禅15分、練習60分、問い合わせ:坂井陵童 ☎554-3273
- 介護予防体操…… 健康体操の集いです。直接、みんなの家にお越し下さい 毎週金曜日 14時～16時
- お寺でこころの相談…… タロットによる心理セラピーです ハムサまで 毎月第一日曜日13時～18時 要予約 090-6792-4784
- 新聞サロン…… 毎月第4土曜日 13時～14時 新聞を楽しく読んで世界を広げよう。活字から読む力を。お子様の参加大歓迎です。要予約 090-6549-0751 講師:鹿野川喜代美さん ☎042-554-7343 まで
- 女性サンガの会・薬師講・寺子屋委員会・護持会 一活動中ですー ○宗禅寺禅センターをお使い下さい。
- 各教室の会場:●は宗禅寺 ○は禅センターです